

ぼく  
木  
たく  
鐸

編集・発行  
はな。居宅介  
護支援事業所

老人と関わる仕事に携わるようになり、10年以上になるのですが、最近、思うことがあります、当初は同じ志を持った人達とネット仲間を作ろうと意気込んでいた時期があったのですが、いつの間にか薄れてしまい、積極的に行動しなかったのですが、ただ、あればよいなあと、そういう思いは忘れ去る事はありませんでした。

最近、その機会が突然現れました。「夢は叶う。ささいな夢」ではありますが叶いました。念願している時には叶わず、ふとしたきっかけで実現する事象に「何故かと考えました」夢は努力する事により叶えられる、もちろん努力しても叶えられない夢、現実にはこちらの方が多くのように思います。叶えられる夢、そうでない夢。どこに差が出てくるものなのかと考えました。結果。夢を叶えるには、何かしらの法則があると思います。

それは、目に見える法則と見えない法則があるような気がします。例えば、オリンピックの金メダリストは、

## 目に見えない法則 をゲット！！

**目に見える法則**「練習、努力する等…継続する法則」

**目に見えない法則**「絶対に金メダルを取る、優勝する等の絶対に勝つという強い意志を持つ法則」を持っていると思います。でも。この二つの法則を実践したとしても金メダル獲得は絶対とは断言できません。まだ他に、不確定必要素があり、それは、時代背景・時期・時間・社会情勢、そして歴史という膨大な時間の流れが噛み合わないとは実現しません。良質の米苗でも、夏に田植えしても米が収穫できないようなものです。だからといって、目に見える法則、見えない法則の二つを実践しないと夢はほぼ実現しないと思います。この法則は個人の夢、理想の実現のための法則ですが、地域にも当てはめられる事ができると思います。

松原地域での、望ましい社会・夢はなんなんでしょうか？。各事業所、行政、民生委員さん等一生懸命日々活動され、勉強会も継続され、目に見える法則はあるようです。ケアマネ勉強会も継続され、目に見える法則は充足できているように思います。次に目に見えない法則はなんなのでしょうか？ここを押さえれば望ましい松原地域になるかもしれません。

目に見えない法則か？。なるほど。判ったような、分らないような法則

あっ！。目に見えない法則がわかった「はなさんが、消えて目に見えなくなる」ことだよあっ×●。あっ▽■。あっ？！。 みなさん夏バテしないようにしてください

## 書評

### 俺たちの箱根駅伝（上・下）



夏の時期に駅伝の書評は、さすがに適しているとは思いますが、あえて紹介させてもらいます。上・下あり。読破はそれなりの時間はかかりますが、実に爽快に読めます。ストーリーはあえて記しませんが、夏の高校野球の決勝戦を見ているような感覚に陥り、感動場面（個人差によりですが）も多々あり、難しくもなく、さわやかな汗をかけた後に、そよ風が身体通り抜けるような気持ちになります。作家は池井戸潤で「下町ロケット」、「半沢直樹」等が有名ですが、この作品も良書だと思います。また、駅伝の舞台裏の様子もしっかり描かれており、これだけの多くの人間が関わり駅伝が成り立っているのかも、あらためて知りました。また、登場人物の人間関係も絡み合っている。池井戸作風もあり、読み始めたら夜更かししそうな勢いで読むことができます。余談になりますが、読書好きの利用者で白寿の方がおられ、その方にも貸して読んでもらっています。その方、新聞ほど安い読み物はないと言っておられる人で、感想を聞かせて頂くのが楽しみです。